

# 2023理学療法週間事業報告

## 日胆支部

### 子供～高齢者までロコモ度テスト実施 大盛況でした

日胆支部 社会部部員  
佐藤 武義



COVID-19の5類移行から、各地でお祭りや催しなど賑わいが戻ってきました。私達、日胆支部伊達地区も7月2日に市民活動センターにてボランティア連絡会・社会福祉協議会が主催する「ふれあい広場だて」に4年ぶりに参加し、理学療法のPR活動を行ってきました。出展では、



移動機能をみるロコモ度テストの実施や福祉用具体験を行いました。

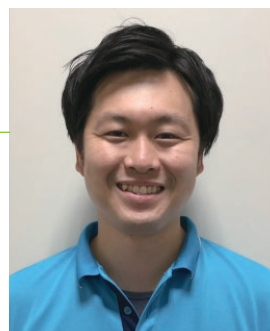
また、健康相談窓口を設け、19歳以下の方には最近増えている子どもロコモに焦点を当て対応をしました。社会部員として今年度から企画を任せられ少し不安もありましたが、当日は来客も多く盛況で、笑顔もたくさん確認でき、職場の違う地区理学療法士メンバーとも席の暖まる暇もなく気持ちの良い協働ができたので、まずは一安心でした。

来年の機会も、専門性を背景におもてなしの心を大事にして、参加者と私達が互いに楽しめる居心地の良い場づくりに力を入れ、理学療法士の認知度向上に少しでも繋げたいと考えております。最後に、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

## 石狩支部

### 高校生理学療法体験を実施して

石狩支部 社会部長  
澤野 純平



石狩支部社会部では毎年7月中旬から8月下旬まで、石狩管内の高等学校(13校)を対象に、進路指導の一助として「高校生理学療法体験」を実施しております。昨年度までは新型コロナウイルスの影響によりオンラインにて現役理学療法士との座談会を実施していましたが、新型コロナウイルスの5類への移行を機に、今年度より対面での実施を再開しました。



本事業では、理学療法士を目指すきっかけになること、なりたいという気持ちが強まることを目的として、実際の理学療法場面の見学、患者様とのコミュニケーション、運動療法、車椅子乗車や血圧測定などの体験をしてもらいました。

実施後のアンケートでは、「進路指導の決め手になった」、「実際に働くイメージが持てた」、「理学療法士になりたいという気持ちが強くなった」などの声をいただいております。また、理学療法士側も高校生と関わることで初心に戻り、臨床のモチベーションUPに繋がる事業であると感じています。

石狩支部社会部では、他に地域健康イベントなどへの参加もしており、今後も地域への啓蒙・啓発活動を継続して参ります。